

# 佐藤ゆきお 日々の活動



●加茂2丁目  
土砂崩れ  
崩れた法面は、法枠  
ブロックにて施行致し  
ました。10月14日調  
査 7月26日完了



●南光台南2丁  
目公園法面安全  
対策  
危険な法面にフェンス  
を設置。6月21日調  
査 9月12日完了



●松陵3丁目  
土砂災害対策  
9月15日調査  
8月1日完了



横断歩道線 引き直し



信号機 設置

●市名坂字東浦  
付近市道安全対  
策  
10月14日完了

# 佐藤ゆきお 市議会通信

SATO YUIKIO SHIGIKAI TUSHIN

【泉区】IZUMI-KU

# 5

荒浜海岸公園 復興状況を視察 10月3日



## 第3回定例会にて取り組むべき課題について訴える！

皆様には日頃より様々な「声」を頂き、そして暖かなご支援を賜りまして心より御礼申し上げます。

平成28年 第3回定例会（9月7日～10月11日）が開催されました。今回の定例会でも一般質問をさせて頂き、子育て支援として児童クラブの拡充及び地域公共交通体系のこれから取り組むべき課題についてお訴えさせて頂きました。また今定例会におきましても、当会派の代表質疑で、東日本大震災より5年半が過ぎましたが、「最後のお一人が生活再建、そして心の復興を成し遂げるまで復興は終わらない」との思いを再度、奥山市長へ訴えて参りました。これからも最後のお一人まで寄り添った復興の取り組みを進めて参ります。また地域の皆様より頂きました安全・安心の取り組みへの「声」につきましても、予算要望等を担当部局に進めると共に、現場調査を本市部局と共に着実に推進して参りました。これからも皆様の「声」にお応えできる議員に一日も早く成長したいと、無我夢中で日々の活動に取り組んでおります。これからも、何事にも全力で対応し、さらに「安心・安全」な街づくりを推進して参る決意です。

仙台市議会議員 佐藤 幸雄

一人の声を  
市政に  
つなぎます

VOL. 5

2016年11月発行

発行元/仙台市議会  
公明党市議団

仙台市議会議員

佐藤 幸雄

仙台市泉区南光台1  
-56-15-1

TEL.022-272-4863

Email yukio@

sendai-komei.jp

HP [http://sato-](http://sato-yukio.jp/)

yukio.jp/



## プロフィール

昭和43年7月25日

仙台市生まれ

昭和62年仙台商業高等学校  
卒業

(硬式野球部OB)

平成4年1月 新日軽株式会社  
入社

(現・株式会社IXIL)

平成27年4月25日 退社

平成27年8月2日 仙台市

議初当選

<所属委員会>

健康福祉委員会、環境・IT

政策調査特別委員会

広報委員会

<党役職>

県本部青年局長

泉第二支部支部長

商工経営対策副委員長

広報企画局長

HP

<http://sato-yukio.jp/>

SATO YUIKIO SHIGIKAI

TUSHIN

VOL.5 2016.11



第3回定例会  
一般質問  
平成28年9月

## 子育て支援・地域公共交通に本市は市民の声を聞いて進めるべき！

### 1. 子育て支援の取り組みについて

【佐藤幸雄議員】児童クラブ事業は、昼間 保護者が就労等により家庭にいない小学1年生から3年生の児童を対象に、放課後の遊びや生活の場を提供し、その健全育成を図る機能となっており、いよいよ来年度より「小学4年生」まで受入れを進められる計画となっております。

受入れをされる各児童館のスペース及び職員の人員等、準備は万全か。進捗状況も含め問う。

【市長】来年度からは、全ての小学4年生を対象に受け入れを開始することとしており、登録を希望するすべての児童を受け入れられるよう、現在、児童クラブのサテライトの整備等、必要となる準備を鋭意進めているところである。子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりに、引き続き、力を注いでまいりたいと考えている。

【佐藤幸雄議員】「小学4年生」の受け入れ人数については、現在、利用されている3年生の児童に4年生になっても児童クラブを利用されるかアンケート調査を実施して受入れ人数を検討すべきである。

調査をする事で地域事情が把握でき、面積を増やすべき施設と増やさなくても良い施設もあるかもしれない。

今回、初めての取り組みでもあるため、以上のメリットを考えますとアンケート調査を実施すべきと私は考えるが、当局の所見を伺う。

【子ども未来局長】ご提案のありましたアンケート調査については、利用者の意向を反映したデータが得られるといったメリットがあるが、作業スケジュール等の課題もあることから、今後、小学校や運営団体とも協議しながら、実施の可能性について検討したい。

【佐藤幸雄議員】児童クラブをご利用頂いている母親の方より、土曜日及び学校長期休業日等の開始時間拡充についての「声」を伺いました。それは、仕事の就業時間に間に合わない為、小学1年生のお子さんを開設前の児童館の前に送り届け、職場に向かう時に、お子さんをバックミラーで見た時に、うつむいている我が子を見た瞬間、申し訳なさで「胸が押しつぶれる」思いをしながら仕事をされているとの事でした。



私は現場の状況を把握するため、実態調査を行いました。土曜日の朝は少ない人数であるが、開館前にすでに児童は来ている事。また、長期休業日等では開館前の児童館入り口には列をなして並んで待っているとの事。我が国の政策では「1億総活躍社会」を目指し、その一翼を担うのは女性の活躍であります。

児童の安全面はもちろんですが、お子さんを児童館の開館前に送り仕事に行かれる母親の皆様への不安や悲しみを解消するために、全ての施設ではなく、ご要望のある施設より、開始時間の拡充を進めるべきと考えるが当局の所見を伺う。

【子ども未来局長】本市では、児童クラブの開設を土曜日については午前9時から、学校長期休業日等については保護者の就労等を考慮し、児童館開館時間の午前9時よりも1時間早い、午前8時からとしている。

開設時間の拡充につきましては、一部の利用者から御要望があることは伺っているが、その実施にあたっては、職員の確保や新たな運営費も必要となることから、まずは児童館や運営団体等を通じて利用ニーズの把握に努める中で、検討したいと考えている。

### 2. 地域公共交通について

【佐藤幸雄議員】我が会派の代表質疑でも触れたが、仙台市営バスの巨額の赤字をこのまま放置するわけにはいかない。縮減の対策に向け、これからは本格的に取り組まなければならない時期であるとする。その上で、赤字縮減の改善策との視点から伺う。初めに民間企業との連携についてであります。

ある大型スーパーの責任者とお話をする機会があり、企業として今後の地域とのかかわり及び、買い物バスの今後について伺う。買い物バスについては正直、費用面で大変に苦慮している。当社と一緒に取り組んで頂ける企業もしくは行政のバックアップがあれば、今後の路線拡充も含め前向きに検討したい、と話をされた。例えば病院、区役所を経由して運行した場合、公共交通の恩恵を受けていないエリアも含めた市民の皆様、更にご高齢者の皆様に喜んでいただける施策ではないかと考える。

このように民間企業の力を活用し、本市としても協働で取り組む事は可能なのか、可能であれば具体的にどのエリアなのかも含め、当局の所見を伺う。

【都市整備局長】買物バスなどを運営する事業者につきましては、地域公共交通を支える担い手の一つと考えている。路線バスと買物バスなどの運行経路が重複する場合に路線バスの乗客減少につながるなどの課題もあるが、移動を支える地域資源を活用することも、今後の地域交通を考えていく上での手法の一つと認識しており、参考となる事例を含め、研究してまいりたい。

【佐藤幸雄議員】乗合タクシーの今後について伺う。運行エリア・総体費用・乗車人数に対する料金表を1つのパッケージとし、このエリアで運行させるに必要な人数及び必要な手続きがわかる「提案型パッケージプラン」を検討すべき。

【都市整備局長】持続可能な地域の足の確保のためには、専門家が地域の実情に応じて、提案できるものと考えている。